辻　史子
公明党田原市議団

動画へGO

ＡＹＡ（アヤ）世代（15～39歳）がん患者の在宅ターミナルケア支援を実施する場合の課題は

在宅療養に関する実態の把握が困難で、サービスの種類等について検討が必要

多様な選択肢のある中学校の制服について

問　全国で多様性を尊重して選択肢のある制服を導入する学校が広がってきている。経済性や多様性を考慮した制服についての考えは。

答　各学校では性別を問わないタイプが選択できるようになっている。市としては、児童生徒、保護者等の意見を踏まえ、経済性や多様性に配慮しつつ、時代の変化に適応した見直しを検討することが大切であると考える。

0～2歳児の未就園児の子育て支援について

問　令和5年4月、こども家庭庁が設置される。妊娠時から出産・子育てまで、「孤育て」を防ぐための切れ目ない相談支援体制についての考えは。

答　今議会に、児童福祉と母子保健等の一体的な推進に向けたこども健康部の設置に関わる条例案を提出したことをはじめ、年齢や制度の壁を乗り越えた切れ目のない、包括的な支援体制に取り組んでいく。

ＨＰＶワクチン（子宮頸がんワクチン）の接種について

問　令和5年4月、従来のワクチンよりも高い感染予防効果があるとされる9価ＨＰＶワクチンも定期化されるが、接種率向上のための方針は。

答　既に通知を送っている方にも改めて個別通知を行うなど丁寧な情報提供をしていく。

ＡＹＡ世代がん患者の在宅ターミナルケア支援について

問　ＡＹＡ世代がん患者の在宅ターミナルケア支援を実施する場合の課題は。

答　がん患者の在宅療養に関する実態の把握が困難である。支援に必要なサービスの種類や助成額、助成対象期間等の検討が必要で、引き続き先進自治体の制度などを調査・研究していく。

一般質問

P 6	中神　靖典	今後の行財政運営について
P 7	辻　史子	多様な選択肢のある中学校の制服について
		0～2歳児の未就園児の子育て支援について
		ＨＰＶワクチン（子宮頸がんワクチン）の接種について
		ＡＹＡ世代がん患者の在宅ターミナルケア支援について
P 8	長神　隆士	地域福祉の充実について
P 8	小川　貴夫	農家の労働人材確保について
P 9	古川　美栄	農業生産1000億円と全国一奪還へ
P 10	岡本　重明	改定版第1次田原市総合計画実施成果について
P 11	仲谷　政弘	これまでの市政運営の総括と次期市長選に向けての進退について